

事務事業一覧表

施策コード	事業名称	部局名	所属名	シート区分	ページ
51211	(上水)施設更新・改良事業	公営企業局	経営管理課	シートA	2
51212	(工水)地図情報・図面管理等	公営企業局	経営管理課	シートA	3
53331	(上水)石手川ダム水源保全対策事業	公営企業局	経営管理課	シートA	4
62231	(上水)建設改良基金	公営企業局	経営管理課	シートA	5
62231	(工水)建設改良基金	公営企業局	経営管理課	シートA	6
69999	(上水)事務系・その他電算	公営企業局	経営管理課	シートA	7
69999	(簡水・中島)事務系・その他電算	公営企業局	経営管理課	シートA	8
69999	(工水)事務系・その他電算	公営企業局	経営管理課	シートA	9
69999	(上水)財産管理	公営企業局	経営管理課	シートA	10
69999	(簡水・中島)財産管理	公営企業局	経営管理課	シートA	11
69999	(簡水・北条)財産管理	公営企業局	経営管理課	シートA	12
69999	(工水)財産管理	公営企業局	経営管理課	シートA	13
69999	(上水)その他の支出(企業債の償還等)	公営企業局	経営管理課	シートA	14
69999	(簡水・中島)その他の支出(企業債の償還等)	公営企業局	経営管理課	シートA	15
69999	(簡水・北条)その他の支出(他会計借入金元金等)	公営企業局	経営管理課	シートA	16
69999	(工水)その他の支出(企業債の償還等)	公営企業局	経営管理課	シートA	17
59999	上野処理区汚水処理委託事業	公営企業局	経営管理課	シートA	18

令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	経営管理課	担当グループ名	財産管理担当	連絡先	998-9823			
	部長名	宇野 一生	課等長名	伊藤 慎一郎	リーダー名	副主幹	担当者名	主査	横本 哲也	主事	林 泰男
令和2年度	部局等名	公営企業局	課等名	経営管理課	担当グループ名	財産管理担当	連絡先	998-9823			
	部長名	宇野 一生	課等長名	伊藤 慎一郎	リーダー名	副主幹	担当者名	主査	横本 哲也	主任	藤田 陽平

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	51211	(上水)施設更新・改良事業				事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営		
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】				笑顔プログラム	個別プログラム	-				
政策	快適な生活基盤をつくる					重点プロジェクト	-				
施策	上水道等の整備					主な取り組み	-				
主な取り組み	上水道等の建設・維持				市長公約						
取り組みの柱	施設の建設改良										
総合戦略	基本目標	-				取組み	-				
	政策	-					-				
	施策	-					-				
総合計画の実施計画掲載有無(R2)		2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し							
根拠法令,条例,個別計画等	水道ビジョンまつやま2009 水道ビジョンまつやま2019										

事業の目的(どのような状態にするか)	老朽化した水道施設の再構築を検討し、適正な施設更新のための用地を確保することで、水道事業の健全な運営に寄与する。									
背景(どのような経緯で開始したか)	水道施設の再構築に必要な用地が現有地では確保できないため、新たな用地の購入が必要となった。									
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	水道施設の再構築を実施するうえで必要な更新用地を確保する。									
受益者負担の状況	負担の有無			「有り」の場合,基準や金額等「無し」の場合,その理由						
始期・終期(年度)	平成	28	～	令和	10	終期の種別	1:事業の終了時期			

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	水道事業会計	款	資本的支出		項	建設改良費	目	浄水施設費ほか	R2予算措置時期		当初	
				R元年度	R2年度					R2年度	R3年度		
現計予算額(A)(単位:千円)							462,499		276,600			42,693	
決算額(B)(単位:千円)							69,331		276,327				
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳				国支出金			0		0			0	
				県支出金			0		0		0		0
				市債			0		0		0		0
				その他			0		0		0		0
				一般財源			69,331		276,327		42,693		
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算							市之井手浄水場更新に伴う用地買収	276,327千円	市之井手浄水場更新に伴う用地買収にかかる測量費等	17,820千円	取水堰取水ゲート更新工事に伴う用地買収	24,873千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等													
予算執行残額(単位:千円)		(A)-(B)					393,168		273				

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	市之井手浄水場更新に伴う用地買収を行った。									
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 ↓:年度当初目標以下		左記の理由として良かった点,悪かった点など		予定どおり実施できたため。				
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	4:どちらもいえない		左記の理由		貢献度を計れない。					
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない		公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない			
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし。									
R3年度の目標	施設更新に向け必要な更新用地を確保する。		R3年度の主な取り組み内容(予定含む)		市之井手浄水場更新に伴う用地買収を行う。		特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策		特になし。	

令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	経営管理課	担当グループ名	財産管理担当	連絡先	998-9823			
	部等長名	宇野 一生	課等長名	伊藤 慎一郎	リーダー名	副主幹	担当者名	主査	横本 哲也	主事	林 泰男
令和2年度	部局等名	公営企業局	課等名	経営管理課	担当グループ名	財産管理担当	連絡先	998-9823			
	部等長名	宇野 一生	課等長名	伊藤 慎一郎	リーダー名	副主幹	担当者名	主査	横本 哲也	主任	藤田 陽平

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	51212	(工水)地図情報・図面管理等				事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	7:その他	
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】				笑顔プログラム	個別プログラム	-			
政策	快適な生活基盤をつくる					重点プロジェクト	-			
施策	上水道等の整備					主な取り組み	-			
主な取り組み	上水道等の建設・維持				市長公約					
取り組みの柱	施設の維持管理等									
総合戦略	基本目標	-				取組み	-			
	政策	-					-			
	施策	-					-			
総合計画の実施計画掲載有無(R2)		2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し						
根拠法令,条例,個別計画等	松山市公営企業局固定資産管理規程に基づき、企業局用地の登記関係の文書・図面・写真等の記録と管理を適正に行うことを目的としている。									
事業の目的(どのような状態にするか)	企業局が管理している水道施設や用地等は莫大な量であることから、運用方法、管理方法を明確にすることで公務の適正かつ円滑な執行を確保するため導入した。									
背景(どのような経緯で開始したか)	企業局が所有している工業用水道用地 土地管理台帳システムの保守委託									
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	負担の有無									
受益者負担の状況	-				「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由					
始期・終期(年度)	平成	22	～	令和	6	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期			

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	工業用水道事業	款	工業用水道事業費用	項	営業費用	目	総係費	R2予算措置時期	当初
				R元年度		R2年度		R3年度		
現計予算額(A)(単位:千円)				20			20	18		
決算額(B)(単位:千円)				15			18	-		
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳	国支出金			0			0	0		
	県支出金			0			0	0		
	市債			0			0	0		
	その他			0			0	0		
	一般財源			15			18	18		
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算				水道施設台帳の整備・維持管理 18千円		水道施設台帳の整備・維持管理 18千円				
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等				-		-		-		
予算執行残額(単位:千円)	(A)-(B)			5			2	-		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	土地台帳システム保守委託										
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下		左記の理由として良かった点,悪かった点など			予定どおり実施できたため。				
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	4:どちらもいえない		左記の理由		貢献度を計れない。						
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない			
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし。										
R3年度の目標	引き続き適正な管理を行う。			R3年度の主な取り組み内容(予定含む)		土地台帳システム保守委託		特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策		特になし。	

令和3年度 松山市 事務事業シート <シートA>

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度
--------	-------	--------	-------

令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	経営管理課	担当グループ名	財務担当	連絡先	998-9846			
	部等長名	宇野 一生	課等長名	伊藤 慎一郎	リーダー名	主幹	井手本 公治	担当者名	主任	鶴原 勇気	
令和2年度	部局等名	公営企業局	課等名	経営管理課	担当グループ名	財務担当	連絡先	998-9828			
	部等長名	宇野 一生	課等長名	伊藤 慎一郎	リーダー名	主幹	井手本 公治	担当者名	主査	渡部 祐平	

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	53331	(上水)石手川ダム水源保全対策事業					事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】					笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	豊かな自然と共生する						重点プロジェクト	-		
施策	節水型都市づくりの推進						主な取り組み	-		
主な取り組み	水資源の保全					市長公約				
取り組みの柱	水源かん養の推進									
総合戦略	基本目標	-				取組み				
	政策	-								
	施策	-								
総合計画の実施計画掲載有無(R2)		2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し						
根拠法令,条例,個別計画等	松山市水源の森基金条例、石手川ダム水質保全協議会規約									
事業の目的(どのような状態にするか)	水源林の取得及び整備を行い、水源かん養機能を高めるとともに、石手川ダム等の水道水源の保全及び水質の保全を図ることを目的とする。									
背景(どのような経緯で開始したか)	開発が予想される山林を先行して取得すれば開発を抑制することができること、また、森林整備をすることによって水源地域の環境を保護し、保水機能を高めることによって、質・量の両面から水源保全を図ることができると考え、この事業を開始した。									
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	1. 松山市水源の森基金への負担金 ・水源かん養機能を高めるため水源林の取得及び整備事業を積極的に行うことを目的として設置された「松山市水源の森基金」への負担金 2. 石手川ダム水質保全協議会 ・石手川ダムの水質保全を図るため、関係機関相互の連絡を密にし、水質汚濁防止対策等の推進を円滑にする。 3. その他の石手川ダム水源保全対策 ・石手川ダム等、水道水源の保全を目的として、石手川上流域の住民を対象に、し尿処理手数料補助などを行う。 ・生活排水による汚濁負荷を削減するため、くみ取り便所及び単独処理浄化槽から高度処理型浄化槽へ転換する者に対し、補助金を交付する。(事業期間:平成27～令和2年度の6か年)									
受益者負担の状況	負担の有無			「有り」の場合、基準や金額等		「無し」の場合、その理由				
始期・終期(年度)	昭和	48	～	令和	5	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期			

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	水道事業	款	水道事業費用	項	営業費用	目	総係費ほか	R2予算措置時期		
									当初		
				R元年度		R2年度			R3年度		
現計予算額(A)(単位:千円)						41,648		39,416		32,978	
決算額(B)(単位:千円)						29,504		30,687			
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳	国支出金					0		0		0	
	県支出金					0		0		0	
	市債					0		0		0	
	その他					0		0		0	
一般財源					29,504		30,687		32,978		
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算							松山市水源の森基金への負担金 23,325千円 その他の石手川ダム水源保全対策 3,916千円 石手川ダム水質保全協議会 3,446千円		松山市水源の森基金への負担金 26,000千円 その他の石手川ダム水源保全対策 4,112千円 石手川ダム水質保全協議会 2,866千円		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等											
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		12,144		8,729			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	石手川ダム水質保全協議会総会開催、石手川河川清掃作業 水源地域の水質保全に関する活動、水源地域の河川美化の促進に関する活動 石手川ダム上流域の河川等清掃作業、水源水質保全推進員事業 ダム集水域のくみ取費助成事業									
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	予定どおり実施できたため。						
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	河川清掃や水質保全に係る活動により、水源を守ることができている。							
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない				
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし。									
R3年度の目標	引き続き本事業を実施し、水道水源の保全を図る。		R3年度の主な取り組み内容(予定含む)	石手川ダム水質保全協議会総会開催、石手川河川清掃作業 水源地域の水質保全に関する活動 水源地域の河川美化の促進に関する活動 石手川ダム上流域の河川等清掃作業、水源水質保全推進員事業 ダム集水域のくみ取費助成事業				特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策	特になし。	

令和3年度 松山市 事務事業シート <シートA>

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度
--------	-------	--------	-------

令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	経営管理課	担当グループ名	財務担当	連絡先	998-9836			
	部等長名	宇野 一生	課等長名	伊藤 慎一郎	リーダー名	主幹	井手本 公治	担当者名	主査	渡部 祐平	
令和2年度	部局等名	公営企業局	課等名	経営管理課	担当グループ名	財務担当	連絡先	998-9828			
	部等長名	宇野 一生	課等長名	伊藤 慎一郎	リーダー名	主幹	井手本 公治	担当者名	主査	渡部 祐平	

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	62231	(上水)建設改良基金	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	7:その他
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	地方分権社会を推進する			重点プロジェクト	-	
施策	効率的な行政運営の推進			主な取り組み	-	
主な取り組み	健全な財政運営		市長公約			
取り組みの柱	持続可能な財政運営の維持					
総合戦略	基本目標	-				
	政策	-				
	施策	-				
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等	松山市水道事業建設改良基金条例, 水道ビジョンまつやま2019					
事業の目的(どのような状態にするか)	水道施設の更新に係る世代間の負担の公平を図ることを目的としている。					
背景(どのような経緯で開始したか)	<ul style="list-style-type: none"> 水道施設の更新といった再投資は、新たな収益にはつながらないため、その財源についても将来世代に負担を先送りする企業債(借金)に依存するべきではない。 今の世代が享受している水道施設の機能を、次世代へ引き継ぐ義務があり、そのための資金を調達すべく基金を設置した。 					
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	<p>近い将来全面リニューアルの時期を迎える市之井手、竹原、垣生の3つの浄水場の再構築にかかる事業費の財源として、平成24年度からの20年間で、所要事業費の8割程度(約140億円)を基金へ積み立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 基金積立の原資等は、水道料金に織り込んでいる資産維持費の一部 毎年決算時に資産維持費の額及び基金への積立額を算定 基金への積立額は決算の状況により変動する。 決算の認定と同時に剰余金処分(基金への積立等)の議決を得る。 議決後、基金への積立の処理を行う。 					
受益者負担の状況	負担の有無	[有り]の場合,基準や金額等		[無し]の場合,その理由		
始期・終期(年度)	平成 24	～	令和 14	終期の種別	1:事業の終了時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	水道事業	款	資本的支出	項	基金造成費	目	基金造成費	R2予算措置時期	当初
				R元年度		R2年度		R3年度		
現計予算額(A)(単位:千円)				690,900		614,480		554,150		
決算額(B)(単位:千円)				690,900		614,480				
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳	国支出金		0		0		0			
	県支出金		0		0		0			
	市債		0		0		0			
	その他		0		0		0			
一般財源		690,900		614,480		614,480		554,150		
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算				建設改良基金の積立 614,480千円		建設改良基金の積立 554,150千円				
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等										
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		0		0		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	経費削減など経営努力の結果、利益を確保することができたため、決算確定後、基金への積立を行う。					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 ↓:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	基金積立の当初目標額が達成できたため。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由		予定どおり基金を積み立てることにより、水道施設の更新財源の一部を確保することができた。		
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	水道施設の耐震化等に係る事業費の増大により、基金積立を行うための利益確保が難しくなっている。					
R3年度の目標	予算計上した基金への積立予定額が達成できるよう経営努力を行う。		R3年度の主な取り組み内容(予定含む)	引き続き経費削減などの経営努力を行う。		特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策 2019年3月に策定した「水道ビジョンまつやま2019(水道事業経営戦略)」に基づき、経営基盤の強化と財政マネジメントの向上に取り組む。

令和3年度 松山市 事務事業シート <シートA>

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度
--------	-------	--------	-------

令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	経営管理課	担当グループ名	財務担当	連絡先	998-9836			
	部等長名	宇野 一生	課等長名	伊藤 慎一郎	リーダー名	主幹	井手本 公治	担当者名	主査	渡部 祐平	
令和2年度	部局等名	公営企業局	課等名	経営管理課	担当グループ名	財務担当	連絡先	998-9828			
	部等長名	宇野 一生	課等長名	伊藤 慎一郎	リーダー名	主幹	井手本 公治	担当者名	主査	渡部 祐平	

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(実施コード)	62231	(工水)建設改良基金	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	7:その他
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	地方分権社会を推進する			重点プロジェクト	-	
施策	効率的な行政運営の推進			主な取り組み	-	
主な取り組み	健全な財政運営		市長公約			
取り組みの柱	持続可能な財政運営の維持					
総合戦略	基本目標	-				
	政策	-				
	施策	-				
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等	松山市工業用水道事業建設改良基金条例					
事業の目的(どのような状態にするか)	水道施設の更新といった再投資は、膨大な事業費が必要となることから、基金を設置し、所要資金を積み立てていくことを目的としている。					
背景(どのような経緯で開始したか)	本市の基幹浄水場である垣生浄水場には、昭和30年代に建設された工業用水道施設が併設されており、近い将来全面的なリニューアルの時期を迎え、膨大な事業費が必要となるため。					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	垣生浄水場工業用水道施設(着水井、ポンプ室、管理棟の築造、場内配管、送水ポンプ、機械設備)の更新のため、平成24年度からの15年間で、所要事業費の8割程度(約10億円)を基金へ積み立てる。 ・基金積立の原資等は、工業用水道料金に織り込んでいる資産維持費の一部 ・毎年決算時に資産維持費の額及び基金への積立額を算定 ・基金への積立額は決算の状況により変動する。 ・決算の認定と同時に剰余金処分(基金への積立等)の議決をとる。 ・議決後、基金への積立の処理を行う。					
受益者負担の状況	負担の有無	[有り]の場合、基準や金額等 [無し]の場合、その理由				
始期・終期(年度)	平成 24	～	令和 9	終期の種別	1:事業の終了時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	工業用水道事業	款	資本的支出	項	基金造成費	目	基金造成費	R2予算措置時期	当初
				R元年度		R2年度		R3年度		
現計予算額(A)(単位:千円)						36,330		42,040		45,830
決算額(B)(単位:千円)						36,330		42,040		
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳	国支出金				0		0		0	
	県支出金				0		0		0	
	市債				0		0		0	
	その他				0		0		0	
一般財源				36,330		42,040		45,830		
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算							建設改良基金の積立 42,040千円		建設改良基金の積立 45,830千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等										
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		0	0			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	経費削減など経営努力の結果、利益を確保することができたため、決算確定後、基金への積立を行う。					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	基金積立の当初目標額が達成できたため。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由		予定どおり基金を積み立てることにより、工業用水道施設の更新財源の一部を確保することができた。		
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし。					
R3年度の目標	予算計上した基金への積立予定額が達成できるよう経営努力を行う。		R3年度の主な取り組み内容(予定含む)	引き続き経費削減などの経営努力を行う。		特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策
	2021年3月に策定した「経営戦略」に基づき、経営基盤の強化と財政マネジメントの向上に取り組む。					

令和3年度 松山市 事務事業シート <シートA>

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度
--------	-------	--------	-------

令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	経営管理課	担当グループ名	財務担当	連絡先	998-9836				
	部等長名	宇野 一生	課等長名	伊藤 慎一郎	リーダー名	主幹	井手本 公治	担当者名	主査	渡部 祐平	主査	呉石 美徳
令和2年度	部局等名	公営企業局	課等名	経営管理課	担当グループ名	財務担当	連絡先	998-9828				
	部等長名	宇野 一生	課等長名	伊藤 慎一郎	リーダー名	主幹	井手本 公治	担当者名	主査	呉石 美徳	主査	渡部 祐平

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	69999	(上水)事務系・その他電算					事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	2:委託	
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】					笑顔プログラム	個別プログラム	-			
政策	その他						重点プロジェクト	-			
施策	その他						主な取り組み	-			
主な取り組み	その他					市長公約					
取り組みの柱	その他										
総合戦略	基本目標	-					取組み	-			
	政策	-						-			
	施策	-						-			
総合計画の実施計画掲載有無(R2)		2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)		2:無し						
根拠法令,条例,個別計画等											
事業の目的(どのような状態にするか)	財務会計システム等を活用する事で、適正な予算の執行事務や、行政事務を迅速かつ効率的に行う。										
背景(どのような経緯で開始したか)	企業局では、事務の改善、利便性の向上、行政事務の更なる効率化・迅速化を目的とし、財務会計システム等を導入しているが、システムの保守及びシステム運用に関する業務については、専門知識が必要であることから業務委託している。										
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	財務会計システム、土木積算システム、松山市例規集データベースシステム、庁内LAN機器についての ・システムの維持管理 ・関連備用品の購入・修繕等を行う。										
受益者負担の状況	負担の有無	-			「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由	-					
始期・終期(年度)	平成	18	～	令和	5	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期				

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	水道事業	款	水道事業費用		営業費用		目	総係費	R2予算措置時期		当初
				項	目	目	目			R2年度	R3年度	
				R元年度		R2年度				R3年度		
現計予算額(A)(単位:千円)				23,596		25,349		25,349		19,459		19,459
決算額(B)(単位:千円)				20,520		22,719		22,719		-		-
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳	国支出金			0		0		0		0		0
	県支出金			0		0		0		0		0
	市債			0		0		0		0		0
	その他			0		0		0		0		0
一般財源				20,520		22,719		22,719		-		19,459
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算				-		電算システムの維持管理 19,666千円 電算関連備用品の購入・修繕等の経費 3,053千円		電算システムの維持管理 14,352千円 電算関連備用品の購入・修繕等の経費 5,107千円		-		-
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等				-		-		-		-		-
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		3,076		2,630		-		-

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	財務会計システム、土木積算システム、松山市例規集データベースシステム、庁内LAN機器についての ・システムの維持管理 ・関連備用品の購入・修繕等										
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下			左記の理由として良かった点,悪かった点など			予定通り適正に運用できたため。			
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由			システムの円滑な運用により水道事業の適正な運営に寄与しているため。					
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない			
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	令和3年4月1日付で上下水道部門の組織統合を行った。										
R3年度の目標	正常な運営維持を行い、引き続きIT経費の削減、事務の改善、利便性の向上、行政事務の更なる効率化・迅速化を図る。			R3年度の主な取り組み内容(予定含む)			財務会計システム、土木積算システム、松山市例規集データベースシステム、庁内LAN機器についての ・システムの維持管理 ・システムの開発(改造・再構築等を含む一時経費) ・関連備用品の購入・修繕等		特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策		財務会計システム機器の更新に合わせ、現有機能の課題等を洗い出し、さらなる機能改善を図る。

令和3年度 松山市 事務事業シート <シートA>

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度
--------	-------	--------	-------

令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	経営管理課	担当グループ名	財務担当	連絡先	998-9836				
	部等長名	宇野 一生	課等長名	伊藤 慎一郎	リーダー名	主幹	井手本 公治	担当者名	主査	渡部 祐平	主査	呉石 美徳
令和2年度	部局等名	公営企業局	課等名	経営管理課	担当グループ名	財務担当	連絡先	998-9828				
	部等長名	宇野 一生	課等長名	伊藤 慎一郎	リーダー名	主幹	井手本 公治	担当者名	主査	呉石 美徳	主査	渡部 祐平

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	69999	(簡水・中島)事務系・その他電算					事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	2:委託
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】						笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	その他							重点プロジェクト	-	
施策	その他							主な取り組み	-	
主な取り組み	その他						市長公約			
取り組みの柱	その他									
総合戦略	基本目標	-					取組み			
	政策	-								
	施策	-								
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	2:無し		重点的取組事業該当有無(R2)		2:無し					
根拠法令,条例,個別計画等										
事業の目的(どのような状態にするか)	財務会計システム等を活用する事で、適正な予算の執行事務や、行政事務を迅速かつ効率的に行う。									
背景(どのような経緯で開始したか)	企業局では、事務の改善、利便性の向上、行政事務の更なる効率化・迅速化を目的とし、財務会計システム等を導入しているが、システムの保守及びシステム運用に関する業務については、専門知識が必要であることから業務委託している。									
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	財務会計システム、土木積算システム、松山市例規集データベースシステム、庁内LAN機器についての ・システムの維持管理 ・関連備品の購入・修繕等									
受益者負担の状況	負担の有無			「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由						
始期・終期(年度)	平成	18	～	令和	5	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期			

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	簡易水道事業	款	中島地区簡易水道事業費用		営業費用	目	総係費	R2予算措置時期	当初	
				項	目						
				R元年度		R2年度		R3年度			
現計予算額(A)(単位:千円)						448		394	599		
決算額(B)(単位:千円)						362		319	0		
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳	国支出金					0		0	0		
	県支出金					0		0	0		
	市債					0		0	0		
	その他					0		0	0		
一般財源						362		319	599		
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算							電算システムの維持管理 257千円 電算関連備品消耗品の購入・修繕等の経費 62千円		電算システムの維持管理 483千円 電算関連備品消耗品の購入・修繕等の経費 116千円		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等											
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		86		75			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	財務会計システム、土木積算システム、松山市例規集データベースシステム、庁内LAN機器についての ・システムの維持管理 ・関連備品の購入・修繕等										
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下		左記の理由として良かった点,悪かった点など		予定通り適正に運用できたため。					
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由			システムの円滑な運用により簡易水道事業の適正な運営に寄与しているため。					
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない			
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	令和3年4月1日付で上下水道部門の組織統合を行った。										
R3年度の目標	正常な運営維持を行い、引き続きIT経費の削減、事務の改善、利便性の向上、行政事務の更なる効率化・迅速化を図る。			R3年度の主な取り組み内容(予定含む)		財務会計システム、土木積算システム、松山市例規集データベースシステム、庁内LAN機器についての ・システムの維持管理 ・システムの開発(改造・再構築等を含む一時経費) ・関連備品の購入・修繕等		特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策		財務会計システム機器の更新に合わせ、現有機能の課題等を洗い出し、さらなる機能改善を図る。	

令和3年度 松山市 事務事業シート <シートA>

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度
--------	-------	--------	-------

令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	経営管理課	担当グループ名	財務担当	連絡先	998-9836				
	部等長名	宇野 一生	課等長名	伊藤 慎一郎	リーダー名	主幹	井手本 公治	担当者名	主査	渡部 祐平	主査	呉石 美徳
令和2年度	部局等名	公営企業局	課等名	経営管理課	担当グループ名	財務担当	連絡先	998-9828				
	部等長名	宇野 一生	課等長名	伊藤 慎一郎	リーダー名	主幹	井手本 公治	担当者名	主査	呉石 美徳	主査	渡部 祐平

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	69999	(工水)事務系・その他電算					事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	2:委託	
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】					笑顔プログラム	個別プログラム	-			
政策	その他						重点プロジェクト	-			
施策	その他						主な取り組み	-			
主な取り組み	その他					市長公約					
取り組みの柱	その他										
総合戦略	基本目標	-					取組み	-			
	政策	-						-			
	施策	-						-			
総合計画の実施計画掲載有無(R2)		2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)		2:無し						
根拠法令,条例,個別計画等											
事業の目的(どのような状態にするか)	財務会計システム等を活用する事で、適正な予算の執行事務や、行政事務を迅速かつ効率的に行う。										
背景(どのような経緯で開始したか)	企業局では、事務の改善、利便性の向上、行政事務の更なる効率化・迅速化を目的とし、財務会計システム等を導入しているが、システムの保守及びシステム運用に関する業務については、専門知識が必要であることから業務委託している。										
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	財務会計システム、土木積算システム、松山市例規集データベースシステム、庁内LAN機器についての ・システムの維持管理 ・関連備用品の購入・修繕等										
受益者負担の状況	負担の有無	/		「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由							
始期・終期(年度)	平成	18	～	令和	5	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期				

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	工業用水道事業	款	工業用水道事業費用		項	営業費用	目	総係費	R2予算措置時期		当初
				R元年度	R2年度					R3年度		
現計予算額(A)(単位:千円)							2,006		1,841			1,246
決算額(B)(単位:千円)							1,731		1,524			
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳			国支出金				0		0			0
			県支出金				0		0			0
			市債				0		0			0
			その他				0		0			0
			一般財源				1,731		1,524			1,246
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算							電算システムの維持管理 1,374千円 電算関連備用品の購入・修繕等の経費 150千円		電算システムの維持管理 805千円 電算関連備用品の購入・修繕等の経費 441千円			
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等												
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)				275		317			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取組み内容	財務会計システム、土木積算システム、松山市例規集データベースシステム、庁内LAN機器についての ・システムの維持管理 ・関連備用品の購入・修繕等										
主な取組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下		左記の理由として良かった点,悪かった点など		予定通り適正に運用できたため。					
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		システムの円滑な運用により工業用水道事業の適正な運営に寄与しているため。						
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない		公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない				
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	令和3年4月1日付で上下水道部門の組織統合を行った。										
R3年度の目標	正常な運営維持を行い、引き続きIT経費の削減、事務の改善、利便性の向上、行政事務の更なる効率化・迅速化を図る。		R3年度の主な取組み内容(予定含む)		財務会計システム、土木積算システム、松山市例規集データベースシステム、庁内LAN機器についての ・システムの維持管理 ・システムの開発(改造・再構築等を含む一時経費) ・関連備用品の購入・修繕等		特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策		財務会計システム機器の更新に合わせ、現有機能の課題等を洗い出し、さらなる機能改善を図る。		

令和3年度 松山市 事務事業シート <シートA>

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度
--------	-------	--------	-------

令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	経営管理課	担当グループ名	財産管理担当	連絡先	998-9823				
	部等長名	宇野 一生	課等長名	伊藤 慎一郎	リーダー名	副主幹	松本 和彦	担当者名	主査	横本 哲也	主事	林 泰男
令和2年度	部局等名	公営企業局	課等名	経営管理課	担当グループ名	財産管理担当	連絡先	998-9823				
	部等長名	宇野 一生	課等長名	伊藤 慎一郎	リーダー名	副主幹	田中 義久	担当者名	主査	横本 哲也	主任	藤田 陽平

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	69999	(上水)財産管理	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	その他			重点プロジェクト	-	
施策	その他			主な取り組み	-	
主な取り組み	その他		市長公約	-		
取り組みの柱	その他			-		
総合戦略	基本目標	-				
	政策	-				
	施策	-				
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等	松山市公営企業局固定資産管理規程, 松山市公営企業局庁舎管理規程					
事業の目的(どのような状態にするか)	松山市公営企業局固定資産管理規程に基づき, 固定資産の効果的な運用を図るため, その取得, 管理及び処分を行うことを目的とする。また, 松山市公営企業局庁舎管理規程に基づき, 公務の円滑な執行を確保するため, 庁舎の秩序の維持, 災害の防止, 美観の保持, その他庁舎管理を行うことを目的とする。					
背景(どのような経緯で開始したか)	公営企業局が管理している水道施設や用地等は膨大な量であることから, 運用方法, 管理方法を明確にすることで公務の適正かつ円滑な執行を確保するため。					
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	固定資産として管理している水道施設や用地等 地方公営企業法施行規則に沿って, 主に有形固定資産や無形固定資産について毎事業年度減価償却を行う。 1. 有形固定資産の減価償却 2. 無形固定資産の減価償却 3. その他財産管理					
受益者負担の状況	負担の有無	「有り」の場合, 基準や金額等 「無し」の場合, その理由				
始期・終期(年度)	昭和 54 ~ 令和 5	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期			

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	水道事業	款	水道事業費用		項	営業費用	目	減価償却費ほか	R2予算措置時期	当初
				R元年度	R2年度					R3年度	
現計予算額(A) (単位:千円)					3,645,520				3,674,446		3,666,620
決算額(B) (単位:千円)					3,518,481				3,531,166		
内訳 (単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳				国支出金	0				0		0
				県支出金	0			0		0	
				市債	0			0		0	
				その他	0			0		0	
			一般財源	3,518,481				3,531,166		3,666,620	
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算							有形固定資産減価償却費 3,476,604千円 無形固定資産減価償却費 34,548千円 車両の購入・維持管理 7,873千円		有形固定資産減価償却費 3,598,690千円 無形固定資産減価償却費 32,740千円 車両の購入・維持管理 20,865千円		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等											
予算執行残額 (単位:千円)		(A)-(B)			127,039				143,280		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため, 実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	有形固定資産減価償却 無形固定資産減価償却 その他財産管理					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	予定どおり実施できたため。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	水道事業の円滑な運営に寄与しているため。			
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし。					
R3年度の目標	引き続き効率的な財産管理を行う。		R3年度の主な取り組み内容(予定含む)	有形固定資産減価償却 無形固定資産減価償却 その他財産管理	特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策	特になし。

令和3年度 松山市 事務事業シート <シートA>

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度
--------	-------	--------	-------

令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	経営管理課	担当グループ名	財産管理担当	連絡先	998-9823				
	部等長名	宇野 一生	課等長名	伊藤 慎一郎	リーダー名	副主幹	松本 和彦	担当者名	主査	横本 哲也	主事	林 泰男
令和2年度	部局等名	公営企業局	課等名	経営管理課	担当グループ名	財産管理担当	連絡先	998-9823				
	部等長名	宇野 一生	課等長名	伊藤 慎一郎	リーダー名	副主幹	田中 義久	担当者名	主査	横本 哲也	主任	藤田 陽平

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	69999	(簡水・中島)財産管理	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営	
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】		笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	その他			重点プロジェクト	-		
施策	その他			主な取り組み	-		
主な取り組み	その他		市長公約	-			
取り組みの柱	その他			-			
総合戦略	基本目標	-					
	政策	-					
	施策	-					
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等	松山市公営企業局固定資産管理規程						
事業の目的(どのような状態にするか)	松山市公営企業局固定資産管理規程に基づき、固定資産の効果的な運用を図るため、その取得、管理及び処分を行うことを目的とする。						
背景(どのような経緯で開始したか)	公営企業局が管理している水道施設や用地等は膨大な量であることから、運用方法、管理方法を明確にすることで公務の適正かつ円滑な執行を確保するため。						
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	固定資産として管理している中島簡易水道施設や用地等 地方公営企業法施行規則に沿って、主に有形固定資産や無形固定資産について毎事業年度減価償却を行う。 1. 有形固定資産の減価償却 2. 無形固定資産の減価償却 3. その他財産管理						
受益者負担の状況	負担の有無	/		「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由	-		
始期・終期(年度)	昭和	54	～	令和	5	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	簡易水道事業	款	中島簡水事業費用	営業費用		減価償却費ほか	R2予算措置時期	当初
					目	目			
				R元年度	R2年度	R3年度			
現計予算額(A)(単位:千円)				113,672	115,254	117,784			
決算額(B)(単位:千円)				112,294	115,009	-			
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳	国支出金			0	0	0			
	県支出金			0	0	0			
	市債			0	0	0			
	その他			0	0	0			
	一般財源			112,294	115,009	117,784			
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算				有形固定資産減価償却費 114,431千円 無形固定資産減価償却費 200千円 車両の購入・維持管理 291千円		有形固定資産減価償却費 114,790千円 無形固定資産減価償却費 200千円 車両の購入・維持管理 1,965千円			
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等				-		-			
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)	1,378	245			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	有形固定資産減価償却 無形固定資産減価償却 その他財産管理					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	予定どおり実施できたため。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	水道事業の円滑な運営に寄与しているため。			
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし。					
R3年度の目標	引き続き効率的な財産管理を行う。		R3年度の主な取り組み内容(予定含む)	有形固定資産減価償却 無形固定資産減価償却 その他財産管理	特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策	特になし。

令和3年度 松山市 事務事業シート <シートA>

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度
--------	-------	--------	-------

令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	経営管理課	担当グループ名	財産管理担当	連絡先	998-9823				
	部等長名	宇野 一生	課等長名	伊藤 慎一郎	リーダー名	副主幹	松本 和彦	担当者名	主査	横本 哲也	主事	林 泰男
令和2年度	部局等名	公営企業局	課等名	経営管理課	担当グループ名	財産管理担当	連絡先	998-9823				
	部等長名	宇野 一生	課等長名	伊藤 慎一郎	リーダー名	副主幹	田中 義久	担当者名	主査	横本 哲也	主任	藤田 陽平

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	69999	(簡水・北条)財産管理	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	その他			重点プロジェクト	-	
施策	その他			主な取り組み	-	
主な取り組み	その他		市長公約	-		
取り組みの柱	その他			-		
総合戦略	基本目標	-				
	政策	-				
	施策	-				
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等	松山市公営企業局固定資産管理規程					
事業の目的(どのような状態にするか)	松山市公営企業局固定資産管理規程に基づき、固定資産の効果的な運用を図るため、その取得、管理及び処分を行うことを目的とする。					
背景(どのような経緯で開始したか)	公営企業局が管理している水道施設や用地等は膨大な量であることから、運用方法、管理方法を明確にすることで公務の適正かつ円滑な執行を確保するため。					
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	固定資産として管理している水道施設や用地等 地方公営企業法施行規則に沿って、主に有形固定資産や無形固定資産について毎事業年度減価償却を行う。 1. 有形固定資産の減価償却 2. 無形固定資産の減価償却 3. その他財産管理					
受益者負担の状況	負担の有無	/		「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由		
始期・終期(年度)	昭和 54	～	令和 5	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	簡易水道事業	款	北条簡水事業費用		項	営業費用	目	減価償却費ほか	R2予算措置時期	当初
				R元年度	R2年度					R3年度	
現計予算額(A)(単位:千円)					2,882				4,466		2,750
決算額(B)(単位:千円)					2,536				3,892		
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳		国支出金			0				0		0
		県支出金			0				0		0
		市債				0			0		0
		その他				0			0		0
		一般財源				2,536			3,892		2,750
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算							有形固定資産減価償却費 2,886千円 車両の購入・維持管理 998千円 庁舎・財産管理 8千円		有形固定資産減価償却費 2,700千円 車両の購入・維持管理 41千円 庁舎・財産管理 9千円		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等											
予算執行残額(単位:千円)		(A)-(B)			346				574		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	有形固定資産減価償却 無形固定資産減価償却 その他財産管理					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	予定通り実施できたため。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	水道事業の円滑な運営に寄与しているため。			
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし。					
R3年度の目標	引き続き効率的な財産管理を行う。		R3年度の主な取り組み内容(予定含む)	有形固定資産減価償却 無形固定資産減価償却 その他財産管理	特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策	特になし。

令和3年度 松山市 事務事業シート <シートA>

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度
--------	-------	--------	-------

令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	経営管理課	担当グループ名	財産管理担当	連絡先	998-9823				
	部等長名	宇野 一生	課等長名	伊藤 慎一郎	リーダー名	副主幹	松本 和彦	担当者名	主査	横本 哲也	主事	林 泰男
令和2年度	部局等名	公営企業局	課等名	経営管理課	担当グループ名	財産管理担当	連絡先	998-9823				
	部等長名	宇野 一生	課等長名	伊藤 慎一郎	リーダー名	副主幹	田中 義久	担当者名	主査	横本 哲也	主任	藤田 陽平

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	69999	(工水)財産管理	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	その他			重点プロジェクト	-	
施策	その他			主な取り組み	-	
主な取り組み	その他		市長公約	-		
取り組みの柱	その他			-		
総合戦略	基本目標	-				
	政策	-				
	施策	-				
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等	松山市公営企業局固定資産管理規程					
事業の目的(どのような状態にするか)	松山市公営企業局固定資産管理規程に基づき、固定資産の効果的な運用を図るため、その取得、管理及び処分を行うことを目的とする。					
背景(どのような経緯で開始したか)	公営企業局が管理している水道施設や用地等は膨大な量であることから、運用方法、管理方法を明確にすることで公務の適正かつ円滑な執行を確保するため。					
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	固定資産として管理している水道施設や用地等 地方公営企業法施行規則に沿って、主に有形固定資産や無形固定資産について毎事業年度減価償却を行う。 1.有形固定資産の減価償却 2.無形固定資産の減価償却 3.その他財産管理					
受益者負担の状況	負担の有無	[有り]の場合,基準や金額等 [無し]の場合,その理由		-		
始期・終期(年度)	昭和 54 ~ 令和 5	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期			

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	工業用水道事業	款	工水事業費用		項	営業費用	目	減価償却費ほか	R2予算措置時期		当初
				R元年度	R2年度					R3年度		
現計予算額(A)(単位:千円)					160,340				159,357		154,966	
決算額(B)(単位:千円)					161,992				158,118			
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳				国支出金	0				0		0	
				県支出金	0				0		0	
				市債	0				0		0	
				その他	0				0		0	
			一般財源	161,992				158,118		154,966		
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算								有形固定資産減価償却費 157,385千円 車両の購入・維持管理 655千円 庁舎・財産管理 78千円		有形固定資産減価償却費 151,620千円 庁舎・財産管理 2,589千円 車両の購入・維持管理 757千円		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等												
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)		-1,652			1,239				

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	有形固定資産減価償却 無形固定資産減価償却 その他財産管理					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	予定どおり実施できたため。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	水道事業の円滑な運営に寄与しているため。			
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし。					
R3年度の目標	引き続き効率的な財産管理を行う。		R3年度の主な取り組み内容(予定含む)	有形固定資産減価償却 無形固定資産減価償却 その他財産管理	特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策	特になし。

令和3年度 松山市 事務事業シート <シートA>

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度
--------	-------	--------	-------

令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	経営管理課	担当グループ名	財務担当	連絡先	998-9836			
	部等長名	宇野 一生	課等長名	伊藤 慎一郎	リーダー名	主幹	井手本 公治	担当者名	主査	渡部 祐平	
令和2年度	部局等名	公営企業局	課等名	経営管理課	担当グループ名	財務担当	連絡先	998-9828			
	部等長名	宇野 一生	課等長名	伊藤 慎一郎	リーダー名	主幹	井手本 公治	担当者名	主査	渡部 祐平	

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	69999	(上水)その他の支出(企業債の償還等)				事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】					笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	その他						重点プロジェクト	-	
施策	その他						主な取り組み	-	
主な取り組み	その他					市長公約	-		
取り組みの柱	その他						-		
総合戦略	基本目標	-			取組み	-			
	政策	-				-			
	施策	-				-			
総合計画の実施計画掲載有無(R2)		2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)		2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等		地方財政法第5条							
事業の目的(どのような状態にするか)	主に水道管路や施設の建設・改良事業などの資金として活用している企業債の定期償還事務を行うこと。								
背景(どのような経緯で開始したか)	地方財政法第5条に基づいて水道事業債の借入を行ったことにより実施								
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	財務省や地方公共団体金融機構等から借り入れた企業債について,9月と3月に定期償還を行っている。 企業債元金の償還 企業債利息の支払 その他の支出								
受益者負担の状況	負担の有無	/			「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由				
始期・終期(年度)	昭和	27	～	令和	32	終期の種別	1:事業の終了時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	水道事業	款	資本的支出		企業債償還金		R2予算措置時期	当初
				項	目	企業債償還金ほか			
				R元年度	R2年度	R3年度			
現計予算額(A)(単位:千円)					1,347,069	1,456,242	1,506,354		
決算額(B)(単位:千円)					1,238,985	1,278,772	1,506,354		
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳	国支出金			0	0	0			
	県支出金			0	0	0			
	市債			0	0	0			
	その他			0	0	0			
一般財源				1,238,985	1,278,772	1,506,354			
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算				企業債元金 907,362千円 固定資産除却費外 202,100千円 企業債利息 169,310千円		企業債元金 1,073,380千円 固定資産除却費外 246,854千円 企業債利息 186,120千円			
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等									
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)	108,084	177,470			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため,実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	企業債元金の償還 企業債利息の支払 その他の支出								
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下		左記の理由として良かった点,悪かった点など		予定どおり実施できたため。			
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		水道事業の円滑な運営に寄与しているため。				
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない		公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない		
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし。								
R3年度の目標	引き続き,水道事業の円滑な運営に努める。		R3年度の主な取り組み内容(予定含む)		企業債元金の償還 企業債利息の支払 その他の支出		特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策		特になし。

令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	経営管理課	担当グループ名	財務担当	連絡先	998-9836			
	部等長名	宇野 一生	課等長名	伊藤 慎一郎	リーダー名	主幹	井手本 公治	担当者名	主査	渡部 祐平	
令和2年度	部局等名	公営企業局	課等名	経営管理課	担当グループ名	財務担当	連絡先	998-9828			
	部等長名	宇野 一生	課等長名	伊藤 慎一郎	リーダー名	主幹	井手本 公治	担当者名	主査	渡部 祐平	

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	69999	(簡水・中島)その他の支出(企業債の償還等)					事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】					笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	その他						重点プロジェクト	-		
施策	その他						主な取り組み	-		
主な取り組み	その他					市長公約				
取り組みの柱	その他									
総合戦略	基本目標	-				取組み	-			
	政策	-								
	施策	-								
総合計画の実施計画掲載有無(R2)		2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)		2:無し					
根拠法令,条例,個別計画等		地方財政法第5条								
事業の目的(どのような状態にするか)	主に水道管路や施設の建設・改良事業などの資金として活用している企業債の定期償還事務を行うこと。									
背景(どのような経緯で開始したか)	地方財政法第5条に基づいて水道事業債の借入を行ったことにより実施。									
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	財務省や地方公共団体金融機構等から借り入れた企業債について,9月と3月に定期償還を行っている。 企業債元金の償還 企業債利息の支払 その他の支出									
受益者負担の状況	負担の有無			「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由						
始期・終期(年度)	平成	16	～	令和	32	終期の種別	1:事業の終了時期			

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	簡易水道事業	款	中島地区簡易水道資本的支出		目	企業債償還金ほか	R2予算措置時期	当初
				項	企業債償還金				
				R元年度		R2年度		R3年度	
現計予算額(A)(単位:千円)						62,118	63,980	66,689	
決算額(B)(単位:千円)						46,358	48,983		
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳	国支出金					0	0	0	
	県支出金					0	0	0	
	市債					0	0	0	
	その他					0	0	0	
一般財源						46,358	48,983	66,689	
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算						企業債元金 38,196千円 企業債利息 8,011千円 固定資産除却費外 2,776千円		企業債元金 40,680千円 企業債利息 7,638千円 固定資産除却費外 18,371千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等									
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		15,760	14,997		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため,実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	企業債元金の償還 企業債利息の支払 その他の支出									
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下		左記の理由として良かった点,悪かった点など		予定どおり実施できたため。				
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由			簡易水道事業の適正な運営に寄与しているため。				
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない		
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし。									
R3年度の目標	引き続き,簡易水道事業の円滑な運営に努める。			R3年度の主な取り組み内容(予定含む)			企業債元金の償還 企業債利息の支払 その他の支出		特になし。	
	特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組み改善策									

令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	経営管理課	担当グループ名	財務担当	連絡先	998-9836			
	部等長名	宇野 一生	課等長名	伊藤 慎一郎	リーダー名	主幹	井手本 公治	担当者名	主査	渡部 祐平	
令和2年度	部局等名	公営企業局	課等名	経営管理課	担当グループ名	財務担当	連絡先	998-9828			
	部等長名	宇野 一生	課等長名	伊藤 慎一郎	リーダー名	主幹	井手本 公治	担当者名	主査	渡部 祐平	

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	69999	(簡水・北条)その他の支出(他会計借入金元金等)					事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営	
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】					笑顔プログラム	個別プログラム	-			
政策	その他						重点プロジェクト	-			
施策	その他						主な取り組み	-			
主な取り組み	その他					市長公約					
取り組みの柱	その他										
総合戦略	基本目標	-					取組み				
	政策	-									
	施策	-									
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	2:無し		重点的取組事業該当有無(R2)		2:無し						
根拠法令,条例,個別計画等											
事業の目的(どのような状態にするか)	北条簡水の施設更新・改良事業で活用した他会計長期借入金の定期償還事務を行うこと。										
背景(どのような経緯で開始したか)	北条簡水の施設更新・改良事業の財源として他会計(水道事業会計)から長期借入を行ったことにより実施。										
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	他会計(水道事業会計)から借り入れた他会計長期借入金について,9月と3月に定期償還を行っている。 他会計長期借入金元金の償還 他会計長期借入金利息の支払										
受益者負担の状況	負担の有無			「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由							
始期・終期(年度)	平成	30	～	令和	30	終期の種別	1:事業の終了時期				

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	簡易水道事業	款	北条地区簡易水道資本的支出		他会計長期借入金償還金		他会計長期借入金償還金		R2予算措置時期	当初
				項	目	目	目				
				R元年度	R2年度	R3年度					
現計予算額(A)(単位:千円)				4,591	4,541	4,450					
決算額(B)(単位:千円)				1,463	1,498	4,450					
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳	国支出金			0	0	0		0			
	県支出金			0	0	0		0			
	市債			0	0	0		0			
	その他			0	0	0		0			
	一般財源			1,463	1,498	4,450					
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算						他会計借入金元金 1,366千円 他会計借入金利息 93千円 固定資産除却費 39千円	固定資産除却費外 2,990千円 他会計借入金元金 1,370千円 他会計借入金利息 90千円				
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等											
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)	3,128	3,043					

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため,実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	他会計長期借入金元金の償還 他会計長期借入金利息の支払										
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など			予定どおり実施できたため。					
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由			簡易水道事業の適正な運営に寄与しているため。					
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない			
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし。										
R3年度の目標	引き続き,簡易水道事業の円滑な運営に努める。			R3年度の主な取り組み内容(予定含む)			他会計長期借入金元金の償還 他会計長期借入金利息の支払		特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策		特になし。

令和3年度 松山市 事務事業シート <シートA>

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度
--------	-------	--------	-------

令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	経営管理課	担当グループ名	財務担当	連絡先	998-9836			
	部等長名	宇野 一生	課等長名	伊藤 慎一郎	リーダー名	主幹	井手本 公治	担当者名	主査	渡部 祐平	
令和2年度	部局等名	公営企業局	課等名	経営管理課	担当グループ名	財務担当	連絡先	998-9828			
	部等長名	宇野 一生	課等長名	伊藤 慎一郎	リーダー名	主幹	井手本 公治	担当者名	主査	渡部 祐平	

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	69999	(工水)その他の支出(企業債の償還等)					事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営	
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】					笑顔プログラム	個別プログラム	-			
政策	その他						重点プロジェクト	-			
施策	その他						主な取り組み	-			
主な取り組み	その他					市長公約					
取り組みの柱	その他										
総合戦略	基本目標	-					取組み				
	政策	-									
	施策	-									
総合計画の実施計画掲載有無(R2)		2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)		2:無し						
根拠法令,条例,個別計画等		地方財政法第5条									
事業の目的(どのような状態にするか)	主に水道管路や施設の建設・改良事業などの資金として活用している企業債の定期償還事務を行うこと。										
背景(どのような経緯で開始したか)	地方財政法第5条に基づいて工業用水道事業債の借入を行ったことにより実施。										
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	地方公共団体金融機構から借り入れた企業債について,9月と3月に定期償還を行っている。 企業債元金の償還 企業債利息の支払 その他の支出										
受益者負担の状況	負担の有無			「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由							
始期・終期(年度)	昭和	27	～	令和	32	終期の種別	1:事業の終了時期				

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	工業用水道事業	款	資本的支出	項	企業債償還金	目	企業債償還金ほか	R2予算措置時期	当初	
				R元年度		R2年度		R3年度			
現計予算額(A)(単位:千円)						65,654		99,184	125,324		
決算額(B)(単位:千円)						16,971		30,162			
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳	国支出金					0		0	0		
	県支出金					0		0	0		
	市債					0		0	0		
	その他					0		0	0		
	一般財源					16,971		30,162	125,324		
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算							企業債元金 27,159千円 企業債利息 2,891千円 固定資産除却費外 112千円	固定資産除却費外 82,204千円 企業債元金 37,240千円 企業債利息 5,880千円			
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等											
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		48,683		69,022			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため,実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	企業債元金の償還 企業債利息の支払 その他の支出									
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下		左記の理由として良かった点,悪かった点など		予定通り実施できたため。				
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		工業用水道事業の円滑な運営に寄与しているため。					
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない		公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない			
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし。									
R3年度の目標	引き続き,工業用水道事業の円滑な運営に努める。		R3年度の主な取り組み内容(予定含む)		企業債元金の償還 企業債利息の支払 その他の支出		特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策		特になし。	

令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	経営管理課	担当グループ名	財務担当	連絡先	998-9836			
	部等長名	宇野 一生	課等長名	伊藤 慎一郎	リーダー名	主幹	井手本 公治	担当者名	主任	鶴原 勇気	
令和2年度	部局等名	下水道部	課等名	下水道政策課	担当グループ名	調整・評価・経営管理担当	連絡先	948-6533			
	部等長名	白石 邦彦	課等長名	三谷 隆信	リーダー名	主幹	西田 光晴	担当者名	主査	井上 知子	

1. 事業概要【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名(施策コード)	59999	上野処理区汚水処理委託事業	事業性質	1-2:自治事務(できる規定あり)	事業区分	1:直営
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	その他			重点プロジェクト	-	
施策	その他			主な取り組み	-	
主な取り組み	その他		市長公約	-		
取り組みの柱	その他			-		
総合戦略	基本目標	-				
	政策	-				
	施策	-				
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等	地方自治法第244条3、第252条の14					
事業の目的(どのような状態にするか)	都市の健全な発達及び公衆衛生の向上に寄与し、あわせて公共用水域の保全に資することを目的とする。					
背景(どのような経緯で開始したか)	松山市と砥部町の行政区域にまたがって建設された上野団地は、砥部町側は砥部町公共下水道に接続されていたものの、松山市側は集中浄化槽での汚水処理を行っており、地元住民から砥部町公共下水道への接続要望があった。そこで、関係機関との協議・検討を進め、平成30年度から新たに松山公共下水道として位置付け、松山市側についても砥部町公共下水道に接続することとし、汚水処理を砥部町に委託する「事務の委託」により、平成31年4月から行政区域を越えて汚水処理を行うこととなった。					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	「砥部町と松山市との汚水処理に係る事務の委託に関する協定書」に基づき、松山市で収入した上野処理区の下水道使用料を、当該地区の汚水処理に係る費用(維持管理・資本費)で按分し、砥部町に支払うものである。					
受益者負担の状況	負担の有無	「有り」の場合、基準金額等 「無し」の場合、その理由				
始期・終期(年度)	令和 1 ~ 令和 5	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期			

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	下水道事業会計	款	下水道事業費用 資本的支出	項	営業費用 建設改良費	目	総係費 管渠建設費	R2予算措置時期		当初
									R2年度	R3年度	
現計予算額(A)(単位:千円)									4,300	4,315	4,152
決算額(B)(単位:千円)									3,875	4,308	
内訳(単位:千円) ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳	国支出金			0		0		0	0	0	
	県支出金			0		0		0	0	0	
	市債			0		0		0	0	0	
	その他			0		0		0	0	0	
	一般財源			3,875		4,308		4,308	4,152		
主な経費(単位:千円) ※R2→決算,R3→予算						委託料 4,308千円		委託料 4,152千円			
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等											
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)		425		7				

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	砥部町への委託料の支払い。					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	予定どおり実施できたため。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	公共下水道事業の円滑な運営に寄与したため。			
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし。					
R3年度の目標	都市の健全な発達及び公衆衛生の向上に寄与し、あわせて公共用水域の保全に資することを目的とする。		R3年度の主な取り組み内容(予定含む)	砥部町への委託料の支払い。		特になし。